

2024年第4回公演

C-Pro合唱団主催

名古屋オペラ合唱団 & 管弦楽団

Nagoya Opera Choir & Orchestra
Present

ラフマニノフ ピアノ協奏曲第2番ハ短調

リスト 『ラ・カンパネッラ』

ビゼー 歌劇カルメン

Georges Bizet CARMEN

全4幕ハイライト フランス語上演 (日本語字幕付き)



©Shigeto Imura

田中正也 (ピアノ)



©宗次ホール

運命のジプシー美女カルメンに
魅惑され破滅してゆく軍人ホセの悲劇
三六歳で急逝したジヨルジュ・ビゼー作曲フランス・オペラの最高傑作



メゾ・ソプラノ
相可 佐代子
カルメン



ソプラノ
金澤 澄華
ミカエラ
第九ソプラノ



テノール
安賜 勳
ドン・ホセ



テノール
包金 鐘
第九テノール



メゾ・ソプラノ
三輪 陽子
第九アルト



指揮 / バリトン
マーク・オリヴィエ
・エッテリ
エスカミーリョ / 第九バリトン



指揮
神田 豊壽

2024 12/3 (火)

愛知県芸術劇場 コンサートホール

17:30開演 (17:00開場)

全席指定・税込

S席7,500円 A席6,000円 B席4,500円

S席ペア券 6,500円 × 2名様

A席ペア券 5,000円 × 2名様

B席ペア券 3,500円 × 2名様



舞踊
村瀬 永子



2023年創立3周年記念公演
ブタケーニ歌劇団・オランダ・オ
名古屋オペラ合唱団&管弦楽団



舞踊
宮崎 美香



ナビゲーター
山森 理子



ソプラノ
原田 美織
フラスキータ



メゾ・ソプラノ
加藤 史
メルセデス



テノール
坂本 肇
モラレス



テノール
山本 治樹
レメンダード



バリトン
藤森 徹
タンカイロ



バリトン
灰塚 弘
スニガ

アイチケット

アイチケットweb検索 0570-00-5310

芸文プレイガイド 052-972-0430

(10:00~19:00 / 土日祝 10:00~18:00)

※月曜定休 (祝日の場合は翌日)

後援協力 ナショナルミュージックコンチェルト

©(未就学児入場不可)やむを得ない事情により、出演者・曲目が変更になる場合がございます。

Program

第1部

珠玉のレクイエムと哀愁のロシア音楽の響き

バッハ トッカータとフーガ二短調 BWV 565

バッハ マタイ受難曲より第54曲63番コラール讃美歌

「御頭よ、傷と血にまみれて」

フォーレレクイエムより第5曲「アニユス・デイ」

ラフマニノフ ピアノ協奏曲第2番ハ短調

リスト 「ラ・カンパネッラ」



吉田 文
(パイプオルガン)

第2部

ビゼー 歌劇カルメン ハイライト全四幕

ハバネラ「恋は野の鳥」セビーリャの城壁の近く「セギディーリャ」「ジプシーの唄」
「闘牛士の歌 諸君の乾杯を喜んで受けよう」「花の歌 お前の投げたこの花は」
「ミカエラのアリア」アラゴネーズ 「闘牛士の行進と合唱」
ホセとカルメン二重唱のフィナーレ「あんたね?」「俺だ。」他

第3部

華麗なる合唱名曲の饗宴

ベルリオーズ編曲 フランス国歌「ラ・マルセイエーズ」

ベートーヴェン 交響曲第9番合唱付より第四楽章「歓喜の歌」

Fotografo iBuenas!



舞踊
高尾 優子

マーク・オリヴィエ・エッテリ (指揮 / バリトン)

Marc-Olivier Oetterli, Baritone エスカミーラ・第九バリトン

ベルン国立音楽大学卒業。ポルドー歌劇場、マルセイユ歌劇場などフランスの歌劇場で客演歌手として契約を結び、ルツェルン歌劇場(スイス)、カッセル国立歌劇場(ドイツ)にて専属主演バリトン歌手として活躍。テル・アビブ(イスラエル)にてベルゴレーン作曲のオペラ「奥様女中」出演。ボツダムサンスーン音楽祭(ドイツ)にて「秘密の結婚」、クロスターノイブル音楽祭(オーストリア)にて「ドンバスクワレ」ドンバスクワレ役、「愛の妙薬」ドルカマラ役で大きな成功を収める。近年は指揮者として活動の場を広げ宗教曲、交響曲、オペラなどを指揮する。バリトン歌手、指揮者として数多くのCDをリリースする。また、飛行機操縦士の資格を持ち、自家用飛行機の操縦士への教育も行っている。

神田 豊壽 (指揮 / テノール)

Toyohisa Kanda, Conductor, Tenor

愛知県立芸術大学大学院修了。声楽を二神二朗氏に師事。モーツァルト「魔笛」タミーノ、「コン・ファン・トゥッテ」フェランド「フィガロの結婚」バジリオ、ビゼー「カルメン」ホセ、團伊玖磨「夕鶴」与ひょう、などオペラに出演。須賀敏一氏、水谷俊二氏との出会いで「水のいのち」など合唱曲の下振りの機会に恵まれて合唱指揮の指導を受ける。それ以後、合唱団の常任指揮や名古屋市民の第九、愛知県合唱連盟の第九、四日市の第九を指導。2021 & 22年には愛知県芸術劇場コンサートホールにてコロナ退散祈願コンサートを企画して、合唱団発表や「カルメンハイライト」「ウォレレクイエム」サンサーンスオルガン毎年秋に西文化小劇場「花の木フェスティバル」にて企画と



付きを演奏し好評を得る。テノールで出演予定。

安賜勳 ヨハネス (テノール)

An Sa-Hoon Johannes, Tenor ドン・ホセ

ソウル国立大学卒業。ドイツ国立ロツンゲン音楽大学卒業。在学中にドイツ学術交流会(DAAD)奨学金を受ける。最優秀で卒業しドイツ国家演奏家資格取得。その後キール、歌劇場カッセル国立歌劇場、ハンノーファー国立歌劇場、マインツ国立歌劇場などドイツの多数歌劇場でタミーノ「魔笛」、ヴェルテル「ヴェルテル」ロドルフォ「ラ・ボエーム」ファウスト「ファウスト」カヴァラントスカ、カラフ「トゥーランドット」、プロレストン「フィデリオ」など60以上のレパートリーを持つ主演歌手としてドイツ全域で活躍。ドイツ語の表現能力と演技力を要求されるオペラ「こうもり」「どこかのいこ」「メロウイドウ」「シカゴ



大公令嬢」などの主演としても活躍。セリゾザワ松本フェスティバル(日本)で小澤征爾氏と「第九」テノールソリスト、メッケルブルグ・フォーホルン音楽祭(ドイツ)でユストゥス・フランツ氏と「カルミナ・ブラーナ」テノールソリストなど音楽祭に出演。ヴァルセリア国際声楽コンクール(イタリア)歌曲部門1位。カミッロ・デ・ナルティスオペラコンクール(イタリア)2位。オリアーデ・ヴォーカル国際歌曲コンクール(オランダ)1位など、韓国、ハンガリードイツの数々の国際コンクールで入賞。DVD オペラ「ラ・ザッロ」でサンチアゴ役CD「モッテリター」で録音、録音に参加する。2012年カッセル市民の選んだ芸術家賞を受賞。現在、名古屋芸術大学 非常勤講師、音楽企画「安」代表、フィデール室内オーケストラ指揮者、名古屋市立立白中学校PTAコーラス「アリランテ」指揮者

相可 佐代子 (メゾソプラノ)

Sayoko Oka, Mezzo Soprano カルメン

名古屋音楽大学声楽科卒業、同大学院修了。2001年パリ市立シヤレ劇場研修生として渡仏。同劇場において歌唱リサイタル他、パリ・アテネ劇場や音楽祭にも出演。劇場研修後、2003年エコール・ノルマル音楽院よりルーセル、ベスティギ奨学金を得て研鑽、高等演奏家ディプロムを審査員満場一致で取得。帰国後も歌劇カルメン主演など多数のオペラに出演。ベートーヴェン「交響曲第九番」「ミサソレムニス」マラー「交響曲第三番」等のソリストも数多く務める。日本各地での演奏活動をはじめ、京都市立芸術大学、名古屋音楽大学、愛知県立芸術大学で後進の指導にもあたる。NHK-FM「名曲リサイタル」出演。2012年津市文化奨励賞。ソリサイタルにおいて2014年名古屋音楽ベンクラブ賞、2010年、2018年名古屋市民芸術祭受賞。2023年CBCクラブ会員。



の公演に出演、アローナ市劇場、ベルガモ夏の音楽フェスティバル「トゥーランドット」リユー役で出演。日本とイタリアを拠点に活動。一般社団法人イタリア音楽振興会代表理事。

金澤 澄華 (ソプラノ)

Sumika Kanazawa, Soprano ミカエラ・第九ソプラノ

武蔵野音楽大学大学院修了。第10回L.チェリッテリ国際音楽コンクール声楽部門優勝(イタリア・レーシヤ)2014年岐阜県文化功績賞を受賞。第1回岐阜国際音楽コンクール審査員特別賞。第42、43回日本イタリア声楽コンクール入選第二回F.チェリッテリクラシックヴォイスコンクール歌曲部門特別賞。ブッチーニフェスティバル、ミラノスカラ座オペラ研修所合唱団として研鑽を積む。2010年名古屋二期会「ラ・ボエーム」ムゼッタでデビュー後、2022年「フィガロの結婚」伯爵夫人、「アイダ」主演、数々のオペラに出演。元パルマ王立歌劇場合唱団員、ソリストとして、ヨーロッパ各地の公演に出演、アローナ市劇場、ベルガモ夏の音楽フェスティバル「トゥーランドット」リユー役で出演。日本とイタリアを拠点に活動。一般社団法人イタリア音楽振興会代表理事。



の公演に出演、アローナ市劇場、ベルガモ夏の音楽フェスティバル「トゥーランドット」リユー役で出演。日本とイタリアを拠点に活動。一般社団法人イタリア音楽振興会代表理事。

包金鐘 ボジンゾン (テノール)

Bao Jinzhong, Tenor 第九テノール

内モンゴル東北地方出身 内モンゴル芸術学院声楽科卒業。内モンゴル自治区青年歌手コンテスト・テナー部門一等賞4回受賞。2001年来日、2002年8月日本長江杯国際音楽コンクール二等賞受賞。2005年第1回エルビス国際音楽コンクール第3位。2006年第8回万里の長城杯国際音楽コンクール声楽部第1位、在大阪中国総領事賞。2007年愛知県立芸術大学大学院音楽研究科修了。世界的に著名な指導者らにその声質を評価され将来が期待されるモンゴルの逸材。親しみやすい性格から日本でも多くのファンを持ち、音域の広さ美しい声で天空のテノールと絶賞される。モンゴル民謡から日本歌曲、オペラのアリア、イタリア民謡、見事な草笛演奏までこなす。コンサート出演1500回以上。



民謡から日本歌曲、オペラのアリア、イタリア民謡、見事な草笛演奏までこなす。コンサート出演1500回以上。



(1838年 - 1875年)
ジョルジュ・ビゼー作曲 Georges Bizet
歌劇カルメン CARMEN

初演 1875年3月3日パリ・オペラ・コミック座
原作 プロスペル・メリメの小説「カルメン」
台本 アンリ・メイヤック、リュドウィク・アレヴィ

三輪 陽子 (メゾソプラノ)

Yoko Miwa, Mezzo Soprano 第九アルト



愛知県立芸術大学音楽部声楽専攻卒業。同大学院音楽研究科声楽専攻修了。第5回国際ワグナー歌唱コンクール派遣対象者国内オーディションにて最優秀賞・特別賞受賞。平成20年度新進芸術家海外派遣制度在外研修生としてイタリアとオーストリアに留学。東京 新国立劇場主催オペラ公演「エレクトラ」「カヴァリアリステイカーナ」「西部の娘」「鹿鳴館」「愛怨」「陰のない女」「ワルキューレ」に出演。同劇場の鑑賞教室にて「蝶々夫人」等の出演。宗教曲では「ヘンデルメサイア」「モーツァルト「レクイエム」」「戴冠ミサ」「ハ短調」ベートーベン「ミサソレムニス」バツバ「マタイ受難曲」「ヨハネ受難曲」「短調」ヴェルディ「レクイエム」ドヴォルザーク「スタバトマテレ」ブルックナー「第3短調」など数々のアルトソとして出演。コンサートではベートーベン「交響曲第9番」マラー「交響曲第3番」「第4番」「第8番」交響曲のアルトソロ全曲、「嘆きの歌」「亡き子を偲ぶ歌」ブラームス「アルプスシィー」シェンベルク「月に憑かれたピエロ」などソリストとして活躍。海外公演ではクオアア、ウイーン、ブラハにて出演。二期会会員、愛知県立芸術大学、金城学院大学、名古屋芸術大学非常勤講師。

吉田 文 (パイプオルガン)

Aya Yoshida, pipe organ



名古屋出身。中学校を卒業と同時に単身でドイツへ渡る。現地高校ギムナジウムに通いながらヘルムート・ベーターズ氏にオルガンを師事。同時に由緒あるバーダーボン大司教座聖堂オルガニストの常時代理として、教会音楽家の活動を開始。17歳で同大聖堂のオルガン・ツィクルスに抜擢され、メンアンの「主の降誕」全曲を演奏し絶賞された。同年、ドイツ国立音楽舞踊大学に特別入学を許可されたカトリック教会音楽科、パイプオルガン科並びに大学院パイプオルガン科を卒業。A級カトリック教会音楽家国家資格及びドイツ国家演奏家資格取得。1992年秋に新設の愛知芸術文化センター内コンサートホールに協力、視察された現在の天皇陛下、秋篠宮殿下夫妻、ロス・アンジェルス市長のために演奏した。また、東京芸術劇場でのブラハ放送交響楽団「サンサーンス」交響曲第3番、京都コンサートホールでの芸術祭典(京)：新作楽劇「求女塚」初演、愛知芸術劇場コンサートホールでのオーケストラ・アンサンブル名古屋定期公演：ブランク「オルガン協奏曲」等出演。ヨーロッパ各地でも活発な演奏活動を続けており、コンツェルトハウス・ベルリンをはじめとするドイツ各地の他ルッケンブルグ、イタリア、ポーランド等のオルガンコンサート・フェスティバルに多く招聘されている。平成27年度名古屋市民芸術祭特別賞受賞、令和3年度名古屋市民芸術奨励賞受賞。名古屋女子大学専任講師・准教授(領域「表現」)を歴任後、現在は名古屋音楽大学非常勤講師(パイプオルガン)南山大学非常勤講師(教会音楽)。名古屋オルガンの秋実行委員会主宰。

田中正也 (ピアニスト)

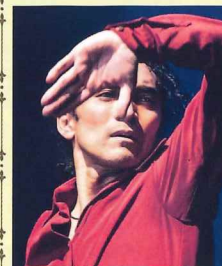
Masaya Tanaka, piano



超人的な演奏とモカカルな人柄とのギャップが魅力の人気ピアニスト。福岡市生まれ。15歳で単身モスクワへ。モスクワ音楽院を卒業後、ローム・ミュージック・ファンデーションより奨学金を得てモスクワ音楽院大学院修了。イタリアにてイブラ国際音楽コンクールグランプリ、カンパノ国際ピアノコンクール第1位・リスト特別賞、イル・ド・フランス国際ピアノコンクール第3位 他受賞多数。国立サントペルブルグ カペラ交響楽団・モスクワ音楽院交響楽団・九州交響楽団・東京フィルハーモニー交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団等と協演。2008年開始した「プロコフィエフピアノ」曲全曲演奏シリーズ」はモスクワでも高評価を博す。2010年宗次ホール(名古屋)で始めた「魔法のピアノ」は独創的な選曲・卓越した演奏と楽しいお話で人気となり全国的に展開。エルミタージュ劇場・在ロシア日本大使公邸・モスクワ音楽院大ホール・カーネギーホールでのコンサートなど国内外で活躍。ナミレコードよりリリースされた7枚のCDはいずれも音楽誌各誌で絶賞され「レコード芸術」特選盤などに選ばれる。日本演奏連盟会員、大阪芸術大学演奏学科講師。
<https://www.masayatanaka.jp>

磯村 崇史 (フラメンコ舞踊家)

Takashi Isomura, flamenco dancer



1995年に本場スペインへ渡り3年間滞在、巨匠マノロ・マリ、伝説のファミリー一家に師事し1997年帰国。翌年の文化庁移動芸術公演より日本フラメンコ界の第一人者小島章司フラメンコ舞踊団のソリストとして公演に参加。故小澤征爾氏の音楽塾オペラプロジェクトXV「カルメン」に出演。2019年倉知可英振り付けによる河上鈴子現代舞踊フェスティバル賞受賞作品にメインメンバーとして参加。2021年9月名古屋市内にライブステージMI PATIO(ミ・パティオ)開設。スタジオMARZO主宰。フラメンコの指導やライブ企画の実績を重ね、受講生は現在約100人を数える。
<http://www.estudio-marzo.jp>

創立5周年記念公演決定
名古屋オペラ合唱団 & 管弦楽団
2025年
華麗なるオペラガラコンサート
ワグナー・ヴェルディ・ブッチーニ他
チャイコフスキーピアノ協奏曲第1番
ベートーヴェン交響曲第9番合唱付~第4楽章「歓喜の歌」